

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	短期インターンシップ	
科目基礎情報						
科目番号	0032	科目区分	専門 / 選択			
授業形態	実験	単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	海上輸送システム工学専攻	対象学年	専2			
開設期	集中	週時間数				
教科書/教材	実習先で準備、または指定される					
担当教員	佐久間 一行					
到達目標						
<p>校外での就業体験を通して、授業で習得した知識及び技術を認識するとともに、視野を広げ、将来必要な知識や技術を把握することを目的とする。また、社会人としての自覚や職業観を養うことを目的とする。</p> <p>評価方法は、専攻科在籍中に実施し、その実習証明書およびインターンシップ報告書が提出されたものについて、二年後期に単位を認め、上記証明書、報告書および校外実習先の担当者の評価を考慮した総合評価とする。</p>						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
志望動機	主体的に志望動機を明らかにできる	指導の下で、志望動機を明らかにできる	指導の下で、志望動機を明らかにできない			
企業の情報収集	主体的に情報収集ができる	指導の下で、情報収集ができる	指導の下で、情報収集ができない			
実習	主体的に実習にあたることができる	指導の下で、実習にあたるができる	指導の下で、実習にあたるができない			
学科の到達目標項目との関係						
専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 専門 E3						
教育方法等						
概要	短期間のインターンシップを通して、習得した自身の技術の確認を行うとともに、視野を広げ、将来の就職に備える。また、社会人としての自覚を養う。					
授業の進め方・方法	実習を希望する会社、大学等の研究所に関して事前に情報収集を行い、志望理由を明らかにして、必要書類を作成する。受け入れ承諾後、実際に会社や研究所にて実習を行う。単位認定は、その実習証明書およびインターンシップ報告書を以て行う。					
注意点	<p>実習先に迷惑をかけないために、社会のルールを守ること、時間を厳守すること。また、実習先の担当者の指示に従い行動すること。事故には最善の注意を払うこと。実習証明書およびインターンシップ報告書を提出することにより合格とする。</p> <p>【短期インターンシップ単位認定基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習先から実習完了証明書が発行されている。 ・実習完了証明書の評価が「不可」もしくはそれに該当する評価でない。 ・40時間以上(8時間×5日間)の実習を行っている。 <p>※報告書作成時間として、最大5時間まで申請することができる。</p> <p>・インターンシップ報告書を作成し、moodleに提出している。</p>					
実務経験のある教員による授業科目						
この科目は、企業の技術者が直接担当する。						
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週	必要書類作成、実習、インターンシップ報告書作成を含めて4 5時間以上行う			
		2週	1. 実習を希望する会社、大学等の研究所に関して事前に情報収集を行い、志望動機を明らかにして、志望理由書を提出する。(情報処理能力および知識の生理と文章表現力を身につける。)	志望動機を明らかにできる	情報収集ができる	
		3週	2. 事前のガイダンスを受け、必要書類を作成する。			

		4週	3. 実際に会社や研究所で校外実習を行う。体験する実習内容は、船舶乗船、生産現場および事業所での業務、研究所での業務などである。(実社会で必要とされる知識や技術の方向性を把握し、職業観を養う。)	実習ができる。
		5週	4. 校外実習終了後、インターンシップ報告書を作成し提出する。(情報処理により報告書を作成する。)	インターンシップ報告書を作成できる
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合		
	その他	合計
総合評価割合	100	100
その他	100	100